

事業報告書

(令和7年度)

社会福祉法人 生活・文化研究所

目 次

I	中期3か年目標（ビジョン）に基づく取り組み状況	1
II	運営状況	4
	1 実施事業	
	2 地域における公益的な取り組み	
	3 理事会・評議員会・監事監査会の開催状況	
	4 施設整備・備品等の購入	
	5 職員配置	
	6 苦情受付状況	
	7 事故等発生状況	
III	事業所報告	8
	1 共同生活ホーム移山寮（共同生活援助）	
	2 多機能型障害福祉サービス事業所移山寮（生活介護・就労継続支援B型）	
	3 相談支援事業所移山寮（特定相談支援・障害児相談支援）	

I 中期3か年目標（ビジョン）に基づく取り組み状況

中期経営計画（令和7年度～9年度）に基づく主な取り組み事項は以下のとおり。

<ビジョン1 経営に対する基本姿勢>

地域から信頼される安定的な経営マネジメントの実践

- 行動指針1 経営者としての役割
 - 4月の全員研修において、経営理念・方針等を明確にし、全職員に周知した。
 - 中期計画に基づいた単年度計画を作成し、実践している。
 - 自然災害発生時の事業継続計画（BCP）を策定し、定期的な見直しを図ることができた。今後は、事業継続アセスメント（BCM）体制の確立を図っていかなければならない。
- 行動指針2 組織統治（ガバナンス）の強化
 - 理事会を執行機関、評議員会を議決機関として適切な法人運営に努めている。
 - 共同生活援助（グループホーム）に開催が義務付けられた地域連携推進会議を立ち上げ、12月に開催した。
 - 監査ガイドラインを活用した自主点検を毎年実施し、改善を図ることができた。
- 行動指針3 健全で安定的な財務基盤の確立
 - 法令、ルールに従って計算書類を作成している。
 - 施設の修繕計画等、明確な長期事業計画に基づく資金計画を作成することは難しかったが、問題を洗い出して作成する必要性がある。
- 行動指針4 コンプライアンス（法令遵守）の徹底
 - 取引業者、行政関係者等との利害関係者と公正かつ適正な関係を保持している。
 - コンプライアンス委員会を立ち上げた。

<ビジョン2 支援に対する基本姿勢>

本人の満足・家族の安心を得る包括支援の取り組み

- 行動指針5 人権の尊重
 - 人権を尊重し個人の尊厳を守る姿勢について、倫理綱領や職員行動指針に明記し、4月の全員研修で周知した。引き続き、「傾聴」「受容」「共感」の姿勢を心がけ、利用者、家族に対して十分な説明と理解が得られた上で、サービス提供することに努めていきたい。
 - 虐待防止管理体制の整備に努め、虐待防止の予防と対応・対策について、4月の全員研修で周知した。また、職員虐待防止チェックを行うことができた。
 - 第三者委員による定期訪問（年4回）や苦情解決制度周知ポスターの更新、投書箱の確認等に取り組み、苦情解決・相談体制の充実を図った。
 - 青森県障害者権利擁護センター主催の「障がい者虐待防止・権利擁護研修会」を受講し、理解を深めることができた。

○ 行動指針6 包括的支援の充実・展開

- 会場の関係で愛の輪レクリレーションが延期となり、延期期日も行事の関係で調整がつかず参加を見合わせたのは残念だったが、グリーン・ツーリズムや家族の会バス旅行(八戸市)、五戸まつりや収穫祭、ふれあいフェスティバル等の行事を通して、家族や利用者、地域の方々との交流の機会を設けた。
- 「なかま通信」や「献立予定表」を毎月発行し、月毎の行事や活動の様子、献立内容を伝えたり、感染予防対策や貴重品の管理について、家族や利用者へ理解を促したりしている。
- 子どもあそびの広場の活動場所として畑を提供することで、施設機能の開放ができた。
- 制度外の福祉的ニーズに対する支援体制として、しあわせネットワークに登録し、相談窓口を相談支援事業所が担っており、2件の対応をした。

○ 行動指針7 サービスの質の向上

- サービス提供方針等を明文化し、職員に浸透、共有する機会を設けるとともに、サービス提供の標準マニュアル(業務手順書)を見直し、確認した。
- 利用者や家族からの苦情や相談に、誠意をもって対応するため、第三者委員には家族会の事業説明会で顔合わせをしてもらったり、定期訪問を4回行ってもらったりした。
- アンケート項目を追加(送迎、給食、年金)して「利用者・ご家族様満足度調査(アンケート)」を実施し、集計結果を全職員に周知するとともに、利用者・ご家族様へも配布することができた。

○ 行動指針8 安心・安全の環境整備

- 事故や度重なる故障により送迎車が1台減った。なんとかやり繰りをして送迎や出荷作業を行っているが、定期的なメンテナンスを始め、計画的な購入計画が必要である。
- 管理栄養士と業務委託契約をし、食事提供体制加算の栄養面における助言・指導を受けることができた。具体的には、タンパク源やカルシウム、ビタミンB2・Dを補うこと、脂質や塩分量を減らすことが指摘されたため、栄養バランスに配慮した昼食を提供できるよう工夫を重ねていきたい。また、引き続き昼食の摂取量を記録することで、栄養面や健康面のチェックも行い、生活の質の向上に努めている。
- 熱中症予防として、こまめな水分補給や休息、日陰や屋内での作業、昼食時の冷房等の対策により、熱中症発症者はいなかったが、年々暑さが厳しくなっており、今まで以上に暑さ対策の工夫が必要と思われる。
- 利用者に向けて、コロナ感染症予防啓発や熱中症予防啓発を行ったり、インフルエンザ予防接種の希望を募ったりすることができた。
- 全利用者の健康診断や定期的な体重測定、生活介護サービス利用者の協力医検診、嘱託医検診等により、利用者の健康面の把握に努め、利用者の体調について相談があった際には、嘱託医や関係医療機関等と連携して対応した。

<ビジョン3 地域社会に対する基本姿勢>

多様な地域ニーズと地域共生社会の推進

○ 行動指針9 地域共生社会の推進

- 高齢化による介護保険への移行や後見人制度の導入等、利用者の多様化、複雑化する援助ニーズを把握して対応している。
- 福祉避難所の確保に関する協定を五戸町と継続して結んだが、BCP と関連付けながら、災害時の地域の災害支援拠点や福祉避難所の取り組みへの備え等、地域住民の安全・安心な生活の確保が必要である。
- 青森ごのヘグリーン・ツーリズムに登録し、一緒に玉ねぎの収穫体験を希望する方を募集、利用者との交流に3名の参加があった。
- しあわせネットワークの総合相談窓口を相談支援事業所が担っており、経済的援助（ライフサポート）の実績が2件あった。
- 環境整美と称して、道路、歩道の除草、ゴミ拾いを行った。

○ 行動指針10 信頼と協力を得るための積極的なPR

- 法人のホームページやWAM NET で事業計画や事業報告、法人理念や事業活動、提供するサービスの内容、公益的な取り組みの実施状況等を発信している。
- 地域では、高齢者世帯が増加しており、草取りや草刈り、清掃等の依頼が増えてきているが、農作業の合間を見て対応せざるを得ない状況であり、すべての依頼に応えられないのが現状である。
- 八戸高等支援学校の産業現場等における実習で、5月に2年生1名、6月に2年生2名を受け入れた。

<ビジョン4 福祉人材に対する基本姿勢>

福祉人材の育成・確保に向けた取り組みの強化

○ 行動指針11 中長期的な人材戦略の構築

- 経営理念を明文化し、職員全員に周知した。

○ 行動指針12 人材の採用に向けた取り組みの強化

- 青森保健大学2年生1名の現場体験・見学学習を受け入れた。
- 7月に倉石中学校1年生8名の福祉体験学習、五戸中学校2年生5名の農業体験学習、9月に川内中学校1年生5名の福祉体験学習と2年生1名の職場体験学習の受け入れを行った。また、社会福祉協議会主催の夏休みボランティアスクールで、倉石小学校6年生1名を受け入れた。10月には切谷内小学校6年生16名が来所し、職場体験を行った。

○ 行動指針13 人材の定着に向けた取り組みの強化

- 労働災害防止策（転倒防止、はしご脚立転落事故防止）の周知を行った。
- 安全衛生推進者養成講座を受講し、安全衛生教育の向上に努めた。

○ 行動指針14 人材の育成に向けた取り組みの強化

- 職員全体研修の内容は、専門性、組織性、社会性、倫理性等のバランスを考慮した構成にして取り組んでいる。

II 運営状況

1 実施事業

<第二種社会福祉事業>

(1) 共同生活ホーム移山寮（事業所番号：0221200025）

サービス種類：指定共同生活援助（介護サービス包括型）

定員：5名

適用年月日：R6.10.1～R12.9.30

(2) 多機能型障害福祉サービス事業所移山寮（事業所番号：0211200043）

サービス種類	指定生活介護	指定就労継続支援B型
定員	10名	20名
適用年月日	R5.1.1～R10.12.31	R3.4.1～R9.3.31

(3) 相談支援事業所移山寮（事業所番号：0231200056（者）／0271200065（児））

サービス種類：指定特定相談支援事業、指定障害児相談支援事業

適用年月日：R2.4.1～R8.3.31

<第二種社会福祉事業以外の事業>

(4) 生活困窮者就労訓練事業（事業所番号：0200000022）

定員：8名

2 地域における公益的な取り組み

(1) 生活困窮者就労訓練事業

地域からの依頼件数がここ数年なかったことから、次年度より廃止することとなった。

(2) 社会福祉法人の社会貢献活動「青森県しあわせネットワーク」参加（青森県社協）

参加社会福祉法人として総合相談（トータルサポート）を実施した。経済的援助（ライフサポート）の実績は2件あった。

(3) 地域住民対象の行事開催

移山寮収穫祭やグリーン・ツーリズム体験を開催し、地域住民との交流を通じ、障害者への理解を深めてもらう機会になった。

(4) 地域行事や取り組みへの協力

まちカフェ（五戸町地域包括支援センター、介護予防と認知症早期発見の活動）に毎月出店した他、イベントでの販売を行った。

(5) 地域への活動場所提供

子どもあそびの広場（五戸町放課後子ども教育推進事業）へ、畑の一部を活動場所として提供した。

(6) ボランティア、体験学習の受け入れ

切谷内小学校、川内中学校、五戸中学校、倉石中学校の職場体験学習や福祉体験学習、八戸高等支援学校の産業現場等における実習の受け入れを行った。

3 理事会・評議員会・監事監査会の開催状況

(1) 監事監査会

開催日時：令和7年5月19日（月） 13:10～14:40

場所：移山寮本館 多目的室

出席監事：三浦啓子、金澤實

出席理事・職員：大西理事長（施設長、GH・相談管理者）、佐々木理事（多機能型管理者）、
松山事務長、小泉

指 摘 事 項：なし

(2) 理事会

開催日	出席者数		主 な 議 案 等
	理事	監事	
5月29日 （木）	5名 （欠1）	1名 （欠1）	〔決議事項〕 ※全て議案通り承認 第1号議案 令和6年度事業報告並びに計算関係書類等の承認について 第2号議案 積立金積立の承認について 第3号議案 新役員候補者の推薦について 第4号議案 新評議員候補者の推薦について 第5号議案 新評議員選任・解任委員の選任について 第6号議案 評議員選任・解任委員会の招集事項について 第7号議案 定時評議員会の招集事項について 第8号議案 規程類の改正について 〔報告事項〕 ①理事長職務執行状況の報告について ②その他
6月19日 （木）	6名	2名	〔決議事項〕 第1号議案 理事長選出について（大西祐子理事が重任）

			第2号議案 令和7年度補正予算案について ※議案通り承認 〔報告事項〕 ①新評議員について
11月19日 (水)	5名 (欠1)	2名	〔決議事項〕 ※全て議案通り承認 第1号議案 令和7年度補正予算案について 第2号議案 生活困窮者就労訓練事業の廃止について 第3号議案 規程類の改正について 〔報告事項〕 ①理事長職務執行状況の報告について ②事業中間報告について ③経理中間報告について ④その他
3月24日 (火)	4名 (欠2)	2名	〔決議事項〕 ※全て議案通り承認 第1号議案 令和7年度補正予算案について 第2号議案 令和8年度事業計画案について 第3号議案 令和8年度当初予算案について 第4号議案 規程類の改正について 〔報告事項〕 ①社会福祉充実残額見込みについて ②利用者・家族アンケート結果 ③その他

(3) 評議員会

開催日	出席者数	主な議案等
6月19日 (木)	評議員5名 (欠2)	〔決議事項〕 ※全て議案通り承認 第1号議案 令和6年度計算書類等の承認について 第2号議案 役員選任について 〔報告事項〕 ①令和6年度事業報告について

4 施設整備・備品等の購入

設置日	品名	取得価格	備考
6/20	中古車トヨタ・ヴォクシー	¥480,000 諸経費込み	多機能型・送迎車両の買替え
12/8	ポータブル電源	¥104,990	GH
12/15	インバーター発電機	¥189,904	B型

5 職員配置 (R8.3月末現在)

区 分	職 名	常 勤	非常勤	常勤換算数	
共同生活ホーム 移山寮	管理者	兼 1 名		1.0	
	サービス管理責任者	兼 1 名		1.0	
	世話人		2 名	0.8	
多機能型障害福祉 サービス事業所 移山寮	管理者	1 名		1.0	
	サービス管理責任者	1 名		1.0	
	生活 介 護	嘱託医師		(1 名)	(0.1)
		看護職員		1 名	0.2
		生活支援員	1 名		1.0
	B 型	職業指導員	3 名	6 名	6.2
		生活支援員	1 名 兼 1 名		1.2
		目標工賃達成指導員	1 名		1.0
	調理員		3 名	1.3	
	送迎担当者		3 名	0.9	
	事務職員	兼 2 名		1.0	
相談支援事業所 移山寮	管理者	兼 1 名		1.0	
	相談支援専門員	1 名		1.0	
本部	事務職員	兼 2 名		1.0	
		12 名	15 名	18.6	

6 苦情受付状況

苦情・要望等の受付状況 0 件

7 事故等発生状況

共同生活ホーム インフルエンザ感染 1 件

III 事業所報告

1 共同生活ホーム移山寮（共同生活援助）

- ・入居者4名のうち1名は就労（農事組合法人くらいし）、他3名は多機能型障害福祉サービス事業所移山寮の就労継続支援B型を利用し、それぞれ日々の活動に取り組んでいる。しばらく1室が空室となっているため、入居者の獲得を考えていかなければならない。
- ・地域と施設等が連携をすることにより、利用者と地域の関係づくりや、地域の方への施設等や利用者に関する理解の促進等を目的として、施設等の外部の方を構成員とした「地域連携推進会議」を、定期的に開催することが義務付けられたことを受け、12月に開催にした。
- ・2月に入居者1名がインフルエンザに感染、その後入居者全員に感染が広まり、終息まで2週間ほどかかった。施設内の消毒、換気を徹底し、うがい、手洗い、マスク着用の対応を引き続き行うようにした。

(1) 利用者の利用状況（R8. 3. 31 現在）

定員	利用者数	平均年齢
5名	4名	57歳11か月

※日中活動先：就労継続支援B型3名、一般就労1名

(2) 開所日数と利用状況（R8. 3. 31 現在）

※平均利用者数 4.0 人/日 [前年度比 93.0%]

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
サービス提供日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365日
サービス提供延数 (1日の利用者数合計)	120	124	120	124	124	120	124	120	124	124	112	124	1,460人

※前年度実績・・・サービス提供延数 1,537 人、開所日 365 日、平均利用者数 4.3 人/日

(3) 主な行事

行事名	月日
入居者会議	4月、6月、8月
入居者健康診断（五戸町検診センター）	5月9日（多機能型と合同）
消防訓練	8月31日、1月24日
協力医定期健診	7月25日（多機能型と合同）
環境整備	随時
五戸まつり	9月5日、6日
地域連携推進会議	12月17日
入居者誕生会	11月、1月、3月

2 多機能型障害福祉サービス事業所移山寮（生活介護・就労継続支援B型）

- ・利用者の増減は、『生活介護』の退所者が3名、『就労継続支援B型』の新規登録者が3名、退所者が4名あり、現在の登録者数は、『生活介護』8名、『就労継続支援B型』29名の合計37名となっている。利用者が増えた場合の利用日数の調整も視野に入れ、引き続き、新規利用者の獲得や高齢化への対応をしていきたい。
- ・『生活介護』では、新聞紙バッグ作りを活動の中心として、時期に応じて梅の芯取りやシソの葉、シソの実取り、小豆の選別等を行っている。また、新たにトイレ清掃の委託を受けて、町内2か所（桜沼公園、地藏尊公園）の清掃活動にも取り組んでいる。入浴サービスの利用者は4名おり、週2回（月・木）利用している。利用者の高齢化により、丁寧に対応していかななくてはならない場面が増えてきているのが現状であり、成年後見制度や介護保険制度への移行対応も考えていかなければならない。
- ・『就労継続支援B型』では、「加工・農業・受託・手芸・カフェ」の中から本人の希望や特性に合わせて、継続的に作業に参加できるよう配慮しながら支援を実施している。商品単価の値上げや請負価格の交渉を行って売上高を増やす努力をしており、実際に収益は上がっているが、原材料費の高騰により支出も増えていることから、その対応策を考えていかなければならない。作業評価表の内容を見直して、時給単価を上げて工賃支給を行うようにしたり、商品単価の値上げや請負価格の交渉を行い、収益を増やす努力をしたりしたところ、目標工賃額を37,930円に対して38,000円と上回る事ができた。さらに、生活介護と同様に高齢化が進んできており、体力や気力、意欲の低下等が顕著に見られてきていることから、作業内容や作業時間、作業場所等の支援体制を検討しながら対応している。精神不安や生活リズムの乱れから欠席が続いたり、体調不良や定期通院による欠席の回数が増えたりしてきており、体調管理面での支援も必要である。

(1) 利用者の状況（R8.3.31現在）

事業	定員	利用者数	平均年齢	住居のある地域
生活介護	10名	8名	65歳0か月	五戸
就労継続支援B型	20名	29名	51歳7か月	五戸、新郷、十和田、八戸

(2) 開所日数と利用状況

<生活介護> ※平均利用者数6.2人/日[前年度比85.0%]

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
サービス提供日数	21	20	21	22	17	20	22	18	20	19	19	21	240日
サービス提供延数 (1日の利用者数合計)	144	132	125	123	98	120	133	109	126	125	120	132	1,487人

※前年度実績・・・サービス提供延数1,717人、開所日236日、平均利用者数7.3人/日

<就労継続支援B型> ※平均利用者数 21.4 人/日[前年度比 108.6%]

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
サービス提供日数	21	24	25	26	21	24	26	23	24	23	22	25	284日
サービス提供延数 (1日の利用者数合計)	551	498	520	542	430	517	561	451	514	503	446	527	6,060人

※前年度実績・・・サービス提供延数 5,667 人、開所日 289 日、平均利用者数 19.7 人/日

(3) 主な行事

月	事業所行事等	交流行事・見学等
4月	短縮日・職員研修 4/4 環境整美 4/21 感染症予防啓発 4/22 家族会総会・事業説明会 4/30	
5月	利用者健康診断 5/9 社協草集め 5/20 利用者会議① 5/21 熱中症予防啓発 5/27	五戸小学校ロータリーがけ 5/1 八戸高等支援学校産業現場等における実習 5/19～5/23
6月	第三者委員定期訪問① 6/2 消防訓練（部分訓練） 6/27	八戸高等支援学校産業現場等における実習 6/9～6/13 八戸高等支援学校産業現場等における実習 6/16～6/20 グリーン・ツーリズム玉ねぎ収穫体験（3名）6/20
7月	社協草集め 7/2 家族会バス旅行（八戸市） 7/11 協力医健診 7/25	倉石中学校1年8名 福祉体験学習 7/2 五戸中学校2年5名 農業体験学習 7/8～7/9 倉石小学校6年1名 夏休みボランティアスクール（社協主催）7/24
8月	大清掃 8/12 短縮日・職員研修 8/18	青森保健大学2年1名 現場体験・見学学習 8/19
9月	第三者委員定期訪問② 9/2	五戸まつり見学 9/5 川内中学校1年5名 福祉体験学習 9/25～9/26 川内中学校2年1名 職場体験学習 9/25～9/26 郷土館かかしコンテスト参加 9/30～11/5
10月	社協草集め 10/1 利用者会議② 10/1 消防総合訓練 10/17 インフルエンザ予防接種 10/31	切谷内小学校6年16名 福祉体験学習 10/30
11月	移山寮収穫祭 11/6	障害者地域生活推進研修会 11/8 （利用者三浦淳子さん発表） 五戸町社会福祉大会 11/20
12月	第三者委員定期訪問③ 12/3 利用者会議③ 12/23 大掃除 12/26 短縮日・職員研修 12/26	
1月	短縮日・職員研修 1/5 嘱託医健診（生活介護） 1/30	
2月	第三者委員定期訪問④ 2/26	まける市見学 2/12 ふれあいフェスティバル参加 2/14
3月	利用者会議④ 3/13	



6月 グリーン・ツーリズム玉ねぎ収穫体験



7月 家族会バス旅行（八戸市）



9月 五戸祭り見学



9月 中学校体験実習



11月 移山寮収穫祭

3 相談支援事業所移山寮（特定相談支援・障害児相談支援）

現在の担当区域は多方面（三戸郡全域・八戸市・十和田市・上北郡）にわたっており、契約者数は120件となっている。介護保険移行や事業所移動、入院と契約解除が多くあったが、新規に利用する利用者も多く、順次契約している。今後も継続して各関係機関と連携をとり、利用者が住み慣れた地域で安心して暮らせるような計画作成に取り組んでいきたい。

行政機関、障害福祉サービス事業所、医療機関等との連携を取りながら、利用者一人一人の対応を適切かつ迅速丁寧に行うことで、信頼関係の構築に努め、一人一人の想いに合わせた計画の立案ができた。また、自立支援協議会等の参加により、市町村や関係機関との連携をとり、地域における福祉ニーズや動向等の情報が得られるようにした。

「豊かに安心して自分らしい生活」を念頭に入れながら、総合的な援助方針や解決すべき課題を踏まえ、最も適切な障害福祉サービスの組み合わせ等について検討し、サービス等利用計画・障害児支援利用計画を作成した。

(1) 特定相談支援事業

①契約者数（R8.3.31現在）

118件（五戸町59件、十和田市10件、八戸市27件、南部町4件、新郷村6件、三戸町5件、田子町2件、おいらせ町3件、階上町1件、横浜市1件）

②計画作成状況 ※請求月基準

種類	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	合計
計画作成	27	20	20	22	89
モニタリング	53	53	57	51	214
合計	80	73	77	73	303

(2) 指定障害児相談支援事業

現在、2件の児童を担当しているが、本人、保護者が希望している放課後等デイサービスを利用している。特にトラブルはなく、定期的にモニタリング等での連絡で、保護者、事業所と連携を取りながら進めている。

①契約者数（R8.3.31現在）

2件（八戸市2件）

②計画作成状況 ※請求月基準

種類	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	合計
計画作成	0	1	1	0	2
モニタリング	3	0	2	0	5
合計	3	1	3	0	7